

令和6年能登半島地震において被害にあわれた多くの皆様に謹んでお悔やみ申し上げます。被災された地域の一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

## 【第3回学校運営連絡協議会 2月9日（金）開催します】

第3回の学校運営連絡協議会ではアンケート結果を踏まえ、協議委員の皆様からご意見を頂きます。今年度は御家庭より114通の回答を頂きました。自由記述の一部をお知らせします。

- ① 学校経営について： 学校の情報発信についての質問で、特に低学年の保護者の方から「連絡帳の電子化をしてほしい」との要望を複数頂きました。すでに保育施設や療育施設等において地域によっては電子化の取組が進んでいます。東京都では新年度から児童生徒と保護者の連絡システムについて電子化する計画を進めていますが、連絡帳に替わるほど、きめ細かい内容は設定されていない状況です。本校では次年度以降の連絡帳等について検討しております。お知らせをもう少しお待ちください。
- ② 学習指導について： お子様の指導の充実性に昨年度よりもICT機器が役立っているか、との質問では、「オンラインの学習で役立っている」「もっと使用して個々の学習を進めてほしい」という意見と「個々の児童生徒によってICT機器活用の必要性は異なるのではないか」という意見も見られました。ICT機器は指導に役立てるための道具であり、ICT機器を用いることが目標ではありません。外部専門員の指導を端末の映像で見ていただくこと等が充実してきています。すべての児童・生徒がより良い形で活用できるよう、個々の活用について検討を継続します。
- ③ 進路指導について： 「具体的に、いつ、どのように、保護者が動いていけばよいか不明」という回答がみられました。卒業生が過ごしている場所の見学を予定しています。PTA役員会とも協力し、地域の福祉状況について知る・見る・学ぶ機会を多く設定します。
- ④ 健康・安全について： 「酷暑だが工夫して水泳指導を継続してほしい」「医療的ケア児者支援法が設定されたにもかかわらず進捗が遅い」とのご意見を複数いただいています。防災については個別のご意見はありませんでしたが、各地の自然災害を我がことと考え、地域と協力してお子様の安全を守るための学習を継続してまいります。
- ⑤ 教職員について： 一部の教職員について接遇の課題を指摘されました。引き続き指導してまいります。

保護者の皆様には、学校運営連絡協議会委員の皆様による「都立城南特別支援学校への提言」を加え、改めて、アンケート結果をお届けします。今年度も多くの保護者の皆様に御協力いただき、たくさんのご意見を頂戴しました。本当にありがとうございました。巣立ちと迎え入れの交差する時期を迎えました。どちらも「新しい始まり」です。児童・生徒の「今」を大切に、「今」の連続が未来へつながることを真摯に受け止め、学校生活を過ごしてまいります。

荒馬座が来ました。踊りも太鼓も大迫力でした！！

阿武松部屋から力士をお招きしました。はっけよーい！！

